

令和7年度 診療情報管理科 3年

教育課程表

授業計画

学校法人 実教学園

F  **C** フチガミ医療福祉専門学校

診療情報管理科 3年

令和7年度

科目名	担当	時間数	単位数
診療情報管理Ⅲ (DPC・医師事務・がん登録の実務)	皆元	30	2
認定試験対策基礎科目編(A/B)	片岡	150	10(6/4)
認定試験対策専門科目編(A/B)	樋口	210	14(6/8)
医療統計Ⅱ(病院統計・疾病統計)	吉野	24	1
医療情報技師受験対策(医学)	片山	30	2
医療情報技師受験対策(システム)	伊藤(正)	30	2
医療情報技師受験対策(情報処理)	森	30	2
データベース応用(A/B)	松浦	60	4(2/2)
エクセルVBAⅡ	井上	30	2
医師事務作業補助	樋口	32	2
がん登録検定対策	來島	30	2
学会発表Ⅱ	小原	20	1
就職指導(A/B)	肥後	60	2(1/1)
キャリア教育Ⅲ	宮本	30	2
病院実習(専門実習)	樋口	160	4
センスアップ講座	篠田	4	
ホームルーム(HR)	樋口		
【日本福祉大学／併修指導】	藤原		
合 計		930	52

科目名	診療情報管理Ⅲ	担当者	皆元 麻里加	クラス	期別
				3IM	前期

1. 教育目標

- ・DPC制度やがん登録制度について正しく理解し、診療情報管理士が行う実務について理解する。
- ・医師事務作業補助体制加算について学び、診療情報管理士と医師事務作業補助者とのかかわりを理解する。

2. 授業内容

- ・DPC制度について学び、DPCコーディング、DPC様式1の監査の方法やDPC提出データの活用方法について学ぶ。
- ・医師事務作業補助体制加算の算定要件や施設基準等を学び、実務の実際と診療情報管理士との関わりを学ぶ。
- ・がん登録に関連する法律を学び、院内がん登録や全国がん登録の登録方法やデータ提出方法について学ぶ。

3. 授業計画

1	DPCと診療情報管理士（診療情報管理部門）との関わり
2	影響調査（基礎調査）と診療情報管理士
3	DPCと影響調査（基礎調査）
4	DPCと影響調査（基礎調査）
5	DPCと影響調査（基礎調査）
6	病院情報の公表と診療情報管理士
7	データの精度と診療情報管理士
8	DPCデータの活用
9	DPCデータの活用
10	医師事務作業補助者の業務と体制、診療情報管理士の関わりについて
11	我が国のがん対策とがん登録
12	がん登録
13	がん登録
14	がん登録
15	試験解説

4. 評価方法

試験70%、授業態度および出席状況15%、提出物15%

5. テキスト及び参考書

- (1) テキスト：診療情報管理Ⅲ 専門課程編 10章
- (2) 疾病、傷害および死因統計分類提要、ICD-10（2013年版）：第1巻(内容例示表)、第3巻(索引表)
- (3) 院内がん登録に関するマニュアル（標準登録様式2016年版、5大癌部位別テキスト）

6. 実務経験の有無

あり（経歴：診療情報管理士として病院勤務）

7. その他

- (1) テキストを中心に学習するが、不足分については資料を準備する。

科目名	認定試験対策（基礎）	担当者	片岡彩子	クラス	期別
				3IM	前期

1. 教育目標

認定試験に合格できる学力をつける。

2. 授業内容

スライドを使用して、2～7章までの復習を行います。授業内で小テストを行い、理解度を確認します。また、章ごとに確認テストを行います。1章に関しては、自身で復習し小テストで理解度の確認を行います。

3. 授業計画

1	第2章 人体構造・機能論
2	第2章 人体構造・機能論
3	第3章 臨床医学総論
4	第3章 臨床医学総論
5	第4章 臨床医学各論Ⅰ
6	第4章 臨床医学各論Ⅰ
7	第5章 臨床医学各論Ⅱ
8	第5章 臨床医学各論Ⅱ
9	第6章 臨床医学各論Ⅱ
10	第6章 臨床医学各論Ⅱ
11	第6章 臨床医学各論Ⅱ
12	第7章 臨床医学各論Ⅲ
13	第7章 臨床医学各論Ⅲ
14	第7章 臨床医学各論Ⅲ
15	前期定期試験対策

4. 評価方法

定期試験 70% 平常点（小テスト、提出物）30%

5. テキスト及び参考書

診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅰ 基礎・医学編（一般社団法人 日本病院会）

6. 実務経験の有無

あり（経歴： ）

7. その他

授業内でスマートフォンを使い、小テストを行います（忘れた場合などにも対応は可能です）。

科目名	認定試験対策（基礎）	担当者	片岡彩子	クラス	期別
				3IM	後期

1. 教育目標

認定試験に合格できる学力をつける。

2. 授業内容

スライドを使用して、8～11章までの復習を行います。授業内で小テストを行い、理解度を確認します。また、章ごとに確認テストを行います。医学用語に関しては、夏休みに自主学習してもらい、小テストで理解度の確認を行います。

3. 授業計画

1	第8章 臨床医学各論Ⅳ
2	第8章 臨床医学各論Ⅳ
3	第8章 臨床医学各論Ⅳ
4	第8章 臨床医学各論Ⅳ
5	第9章 臨床医学各論Ⅴ
6	第9章 臨床医学各論Ⅴ
7	第9章 臨床医学各論Ⅴ
8	第9章 臨床医学各論Ⅴ
9	第10章 臨床医学各論Ⅵ
10	第10章 臨床医学各論Ⅵ
11	第11章 臨床医学各論Ⅶ
12	第11章 臨床医学各論Ⅶ
13	第11章 臨床医学各論Ⅶ
14	第11章 臨床医学各論Ⅶ
15	後期定期試験対策

4. 評価方法

定期試験 70% 平常点（小テスト、提出物）30%

5. テキスト及び参考書

診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅰ 基礎・医学編（一般社団法人 日本病院会）

6. 実務経験の有無

あり（経歴： ）

7. その他

授業内でスマートフォンを使い、小テストを行います（忘れた場合などにも対応は可能です）。

科目名	認定試験対策 専門科目編	担当者	樋口 智美	クラス	期別
				3 IM	前期

1. 教育目標

診療情報管理士認定試験合格

2. 授業内容

<input checked="" type="checkbox"/> 講義・演習 <input checked="" type="checkbox"/> 小テスト、及びレセプト作成 <input type="checkbox"/> グループワーク・ペアワーク <input type="checkbox"/> ディスカッション

3. 授業計画

1	検定概要 学習方法	16	医療情報学	31	国勢統計分類 1
2	医療管理総論	17	医療情報学	32	国勢統計分類 1
3	医療管理総論	18	診療情報管理論 I	33	国勢統計分類 1
4	医療管理総論	19	診療情報管理論 I	34	国勢統計分類 II
5	医療管理総論	20	診療情報管理論 I	35	国勢統計分類 II
6	医療管理各論 I	21	診療情報管理論 I	36	国勢統計分類 II
7	医療管理各論 I	22	診療情報管理論 II	37	国勢統計分類 II
8	医療管理各論 I	23	診療情報管理論 II	38	まとめ
9	医療管理各論 I	24	診療情報管理論 II	39	まとめ
10	医療管理各論 II	25	診療情報管理論 II	40	まとめ
11	医療管理各論 II	26	診療情報管理論 III	41	まとめ
12	医療管理各論 II	27	診療情報管理論 III	42	模擬対策
13	医療管理各論 II	28	診療情報管理論 III	43	模擬対策
14	医療情報学	29	診療情報管理論 III	44	模擬対策
15	医療情報学	30	国勢統計分類 1	45	期末試験と解答・解説

4. 評価方法

定期試験 70%

出席率・講義演習態度・小テスト 30%

5. テキスト及び参考書

板書、テキスト（紙媒体）、スライド資料（電子媒体）

診療情報管理士テキスト（日本病院会）

診療情報管理士教育問題集専門1章～12章

6. 実務経験の有無

あり（経歴：医事課・診療録管理部門等の実務経験）

7. その他

特記なし

科目名	認定試験対策 専門科目編	担当者	樋口 智美	クラス	期別
				3IM	後期

1. 教育目標

診療情報管理士認定試験合格

2. 授業内容

<input checked="" type="checkbox"/> 講義・演習 <input checked="" type="checkbox"/> 小テスト、及び模擬試験 <input type="checkbox"/> グループワーク・ペアワーク <input type="checkbox"/> ディスカッション

3. 授業計画

1	医療統計Ⅰ	16	診療情報管理論Ⅲ	31	医療情報学	46	総まとめ
2	医療統計Ⅰ	17	診療情報管理論Ⅲ	32	医療情報学	47	総まとめ
3	医療統計Ⅱ	18	国際統計	33	診療情報管理論Ⅰ	48	総まとめ
4	医療統計Ⅱ	19	診療情報管理論Ⅰ	34	診療情報管理論Ⅰ	49	総まとめ
5	診療情報管理Ⅰ	20	診療情報管理論Ⅰ	35	診療情報管理論Ⅰ	50	総まとめ
6	診療情報管理Ⅰ	21	診療情報管理論Ⅰ	36	診療情報管理論Ⅰ	51	総まとめ
7	診療情報管理Ⅰ	22	診療情報管理論Ⅱ	37	診療情報管理論Ⅱ	52	模擬
8	診療情報管理Ⅰ	23	診療情報管理論Ⅱ	38	診療情報管理論Ⅱ	53	総まとめ
9	診療情報管理論Ⅱ	24	診療情報管理論Ⅱ	39	診療情報管理論Ⅱ	54	総まとめ
10	診療情報管理論Ⅱ	25	診療情報管理論Ⅱ	40	総まとめ	55	総まとめ
11	診療情報管理論Ⅱ	26	まとめ	41	総まとめ	56	総まとめ
12	診療情報管理論Ⅱ	27	模擬対策	42	総まとめ	57	総まとめ
13	模擬解答	28	模擬対策	43	総まとめ	58	総まとめ
14	診療情報管理論Ⅲ	29	模擬対策	44	総まとめ	59	総まとめ
15	診療情報管理論Ⅲ	30	模擬対策	45	総まとめ	60	総まとめ

4. 評価方法

定期試験 70%

出席率・講義演習態度・小テスト 30%

5. テキスト及び参考書

テキスト・演習問題（紙媒体）、スライド資料（電子媒体）

診療情報管理士テキスト（日本病院会）

診療情報管理士教育問題集専門1章～12章

6. 実務経験の有無

あり（経歴：医療事務・医事課・診療録管理部門等の実務経験）

7. その他

特記なし

科目名	医療統計Ⅱ (病院統計・疾病統計)	担当者	吉野 博	クラス	期別
				3IM	3年前期

1. 教育目標

医療統計において、具体的に求められる成果としてのグラフについて解説し、診療情報管理士が病院統計および疾病統計の知識を身につけること目的とする。また、倫理研究の主な手法を学ぶとともに、テクニカルな面だけでなく、研究を行うにあたっての倫理的な側面も学ぶ。

2. 授業内容

医療統計Ⅰ（統計理論）で完了していない授業内容も併せて行う。医療統計Ⅱでは、情報化の手段として基本的なグラフ表現と実際に求められる病院統計の手法を解説する。また、データを扱う上での研究方法や倫理を教える。

3. 授業計画

	医療統計Ⅰで未実施の項目
1	データのグラフ表現（各種のグラフ化とその用途）
	棒グラフ、円グラフ、折れ線グラフ、クモの巣グラフ
	ヒストグラム、散布図、箱ひげ図
2	主な統計調査と評価指標
3	主な医療評価指標
	平均在院患者数、平均外来患者数、平均在院日数、平均病床利用率
	病床回転数、死亡率、剖検率、対診率、再入院率、紹介率
4	臨床研究の主な手法
	臨床試験、観察研究
	コホート研究、症例－対照研究

4. 評価方法

期末試験 70%
小テスト 15%
平常点数 15%

5. テキスト及び参考書

診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅲ

6. 実務経験の有無：有

実務経歴：病院勤務（47年）、診療情報管理室・病院管理者等

7. その他

資格：診療情報管理士指導者、医療情報技師

科目名	医療情報技師受験対策Ⅱ (医学医療編)	担当者	片山 敏克	クラス	期別
				3IM	前期(15)

1. 教育目標

医学・医療系の既習の知識を活用して、医療情報技師能力検定試験の問題を根拠を踏まえて理解し、検定試験合格に繋げることができる。

2. 授業内容

授業では、問題集から抽出した過去問題を、配布資料をもとに解答しながら適宜解説を加えていきます。更に、解答内容の根拠と設問のパターンを確認することで、医療情報技師能力検定試験に備えていきます。

3. 授業計画

1	オリエンテーション、医学・医療総論①
2	医学・医療総論②、社会保障と保険医療制度①
3	社会保障と保険医療制度②
4	医療管理
5	医学①
6	医学②、薬学・看護学①
7	薬学・看護学②
8	中間テスト
9	検査・診断①
10	検査・診断②、治療・処置①
11	治療・処置②、医療プロセス①
12	医療プロセス②、診療録およびその他の医療記録①
13	診療録およびその他の医療記録②
14	後半テスト
定期試験	
15	試験解説

4. 評価方法

①確認テスト(70%) ②小テスト&出席状況(30%)

5. テキスト及び参考書

【図書名①】医療情報 第8版 医学・医療編

【著者】一般社団法人日本医療情報技学会 医療情報技師育成部会

【出版社】篠原出版新社

【図書名②】医療情報技師 能力検定試験 過去問題・解説集 2025

【著者】一般社団法人日本医療情報技学会 医療情報技師育成部会

【出版社】南江堂

【配布資料】「医療情報技師」のテキストに沿った資料

6. 実務経験の有無

あり (資格・職種 : 看護師(看護管理者研修終了)、健康福祉学修士)

7. その他

項目「医学研究」「医学・医療統計」「臨床データベース」は別途の集中講義で履修します。

科目名	医療情報技師受験対策 (医療情報システム系)	担当者	伊藤 正巳	クラス	期別
				3IM	3年 前期

1. 教育目標

医療情報技師能力検定試験の取得を目指した試験対策（医療情報システム系）
過去問題等の実施により理解度を深め、試験対策に特化した内容を目的とする。

2. 授業内容

テキスト（医療情報（医療情報システム編））を中心に重要ポイントを明確にし、過去問題集により
試験対策に特化した授業を行う

3. 授業計画

1	医療分野の情報化と医療情報の特性
2	病院情報システムの機能①（病院情報システム概要、基盤、電子化）
3	病院情報システムの機能②（入外診療、診療科、医事部門業務）
4	病院情報システムの機能③（看護部門、中央診療部門）
5	病院情報システムの導入
6	病院情報システムの運用
7	保健・医療・介護を支える情報システム①（全体概要、遠隔医療システム）
8	保健・医療・介護を支える情報システム②（地域連携、その他の情報システム）
9	医療情報分野の標準規格
10	医療情報分野の関連法規とガイドライン
11	医療情報データ分析
12	医療情報技師能力検定試験 過去問題 実施後解説及び補足①
13	医療情報技師能力検定試験 過去問題 実施後解説及び補足②
14	医療情報技師能力検定試験 過去問題 実施後解説及び補足③
15	試験解答、解説

4. 評価方法

期末試験結果（70%）
出席状況、授業態度、小テスト等（30%）

5. テキスト及び参考書

医療情報技師能力検定試験 標準テキスト 医療情報（医療情報システム編） 第7版
医療情報技師能力検定試験 過去問題・解説集

6. 実務経験の有無

あり （ 資格・職種 : 診療情報管理士として病院勤務 ）

7. その他

特になし

科目名	医療情報技師受験対策 (情報処理)	担当者	森 由紀	クラス	期 別
				3IM	前期

1. 教育目標

医療情報技師が、医療現場のニーズにあった医療情報システムを開発・導入し、適切かつ効率的に運用・管理していくために必要な「情報処理技術」の知識および技能を習得する。

2. 授業内容

テキストを使用し、過去問題を解きながら解説を行う。

3. 授業計画

1	情報の単位、データの表現
2	コンピュータの種類と処理形態
3	情報システムを構成するハードウェア
4	オペレーティングシステム、ミドルウェアとファームウェア
5	プログラミング言語、データ構造とアルゴリズム
6	デジタルデータの型と種類、データの表現形式
7	小テスト
8	データのデジタル化、データ圧縮
9	データベースの役割
10	データベースのモデル
11	関係モデルと関係データベース
12	関係データベースの操作
13	データベースの特性
14	データベースの運用管理
15	まとめ

4. 評価方法

小テスト10点、提出物10点、授業態度10点、テスト70点で評価する。

5. テキスト及び参考書

医療情報技師能力検定試験過去問題・解説集2023

6. 実務経験の有無

あり (経歴 :)

7. その他

科目名	DB応用	担当者	松浦 友美子	クラス	期別
				3IM	前期

1. 教育目標

- データベースの設計と構築を学ぶ
- Access ビジネスデータベース技能認定試験 2 級取得

2. 授業内容

- テーブルの正規化・リレーションシップ
- フォームとサブフォーム
- クエリ (選択クエリ・アクションクエリ)
- レポート作成

3. 授業計画

1	テーブル作成・フィールドプロパティ	9	Datediff・Dateserial 関数
2	リレーションシップ 結合の種類	10	Format 関数と書式指定文字
3	選択クエリ	11	問題 1
4	アクションクエリ	12	問題 2
5	フォーム サブフォーム作成	13	問題 3
6	フォームのプロパティ	14	問題 4
7	演算子と関数の活用	15	期末試験
8	IIF・Switch 関数		

4. 評価方法

出席点 30 点
実技点 70 点

5. テキスト及び参考書

Access ビジネスデータベース技能認定試験問題集

6. 実務経歴の有無

あり (インストラクターとして企業に勤務)

7. その他

科目名	DB応用	担当者	松浦 友美子	クラス	期別
				3IM	後期

1. 教育目標

- 実用的なデータベースの設計と構築を身に付ける
- Access ビジネスデータベース技能認定試験 2 級取得

2. 授業内容

- EXCEL・テキストデータの利用・テーブルの正規化
- 入力フォーム・照会用フォーム
- コマンドボタン作成・マクロ
- 帳票作成

3. 授業計画

1	インポートデータを使用したテーブル作成	9	問題 2
2	リレーションシップ 結合の種類	10	問題 3
3	入力フォーム・コマンドボタン作成	11	問題 4
4	帳票作成①	12	Access・Excel・Word のデータ連携
5	帳票作成②	13	連携練習問題 1
6	照会用フォーム作成	14	連携練習問題 2
7	マクロの作成	15	期末試験
8	問題 1		

4. 評価方法

出席点 30 点

実技点 70 点

5. テキスト及び参考書

Access ビジネスデータベース技能認定試験問題集

6. その他

科目名	Excel VBAⅡ	担当者	井上 伸明	クラス	期別
				3IM	前期

1. 教育目標

VBA(Visual Basic for Application)の機能を利用し、より使いやすいマクロを作成するためのプログラミング手法を学習する。VBAを学習することによってExcelでアプリケーションを作成でき、より高度な使用が可能になる。この演習では、シートおよびセルにおける基本操作をVBAで作成できるようになることを目標としている。

2. 授業内容

マクロの基本操作からVBAまで広範囲にわたった演習になるため、Excel操作の基本を修得している前提で授業を進める。福祉、医療現場で即戦力となるプログラミング技術の修得を目指すため、できるだけ現場に即した課題の中でコーディングを理解できるよう進めていく。

3. 授業計画

1	数値・書式の操作
2	MsgBoxによる表示とInputBoxによる入力
3	VBA関数とユーザー定義関数
4	セルの操作
5	セルの操作
6	セルの操作
7	セルの操作
8	ワークシートの操作
9	ワークシートの操作
10	ワークシートの操作
11	ワークブックとファイルの操作
12	ワークブックとファイルの操作
13	データベース処理
14	定期試験の模擬演習
15	定期試験

4. 評価方法

課題プログラム(前期試験)によって評価する。
留意事項：授業に対する姿勢も考慮する。

5. テキスト及び参考書(2年次で購入済み)

医療・福祉分野における情報管理者のための
ExcelVBAプログラミング F・Cフチガミ医療福祉専門学校 2,420円(税込)

6. 実務経験の有無

あり (経歴 : 大学・専門学校の学園業務システム等の構築)

7. その他

Excelに限らずOffice統合ソフト(Word Excel PowerPoint Access)のビジネス利用は相当なシェアになっています。福祉、医療現場においても例外ではありません。これは、それぞれのソフト間のデータ連携が非常にスムーズに行われることが大きな要因の一つだと思います。

この演習ではソフト間の連携までは進めませんが、実務において利用できるExcelプログラミング技術を修得してもらえるような学習内容です。

科目名	医師事務作業補助	担当者	樋口 智美	クラス	期別
				3 IM	前期

1. 教育目標

医師事務作業補助は病院勤務医の事務負担を軽減する体制を評価したものであるものの職務内容・要件・役割分担について理解する。検定取得のための講義・演習

2. 授業内容

<input checked="" type="checkbox"/> 講義・演習 <input type="checkbox"/> 小テスト、及びレセプト作成 <input type="checkbox"/> グループワーク・ペアワーク <input type="checkbox"/> ディスカッション
--

3. 授業計画

1	院外処方箋・一般診断書の記総方法
2	診療情報提供書の記載方法
3	保険会社診断書の記載方法
4	医療要否意見書の記載方法
5	入院診療計画書・退院時証明書の記載方法
6	入院・手術・通院証明書・退院時要約の記義方法
7	介護保険主治医意見書の記載方法
8	定期試験解答解説

4. 評価方法

定期試験 70%

出席率・講義演習態度・小テスト 30%

5. テキスト及び参考書

テキスト（紙媒体）、スライド資料（電子媒体）

医師事務作業補助者実務能力認定試験公式テキスト

6. 実務経験の有無

あり（経歴：医事課・診療録管理部門等の実務経験）

7. その他

特記なし

科目名	医師事務作業補助	担当者	樋口 智美	クラス	期別
				3IM	後期

1. 教育目標

医師事務作業補助は病院勤務医の事務負担を軽減する体制を評価したもでの業務内容・要件・役割分担について理解する。検定取得のための講義・演習

2. 授業内容

<input checked="" type="checkbox"/> 講義・演習 <input type="checkbox"/> 小テスト、及びレセプト作成 <input type="checkbox"/> グループワーク・ペアワーク <input type="checkbox"/> ディスカッション
--

3. 授業計画

1	個人情報保護法
2	医療関連法規
3	労災保険・自賠保険 公費負担医療・介護保険法
4	医療安全管理と個人情報
5	院内がん登録
6	院内がん登録
7	診療録と電子カルテシステム
8	解答解説

4. 評価方法

定期試験 70%

出席率・講義演習態度・小テスト 30%

5. テキスト及び参考書

テキスト（紙媒体）、スライド資料（電子媒体）

医師事務作業補助者実務能力認定試験公式テキスト

6. 実務経験の有無

あり（経歴：医事課・診療録管理部門等の実務経験）

7. その他

特記なし

科目名	がん登録試験対策	担当者	来島 裕太	クラス	期別
				3IM	3年前期

1. 教育目標

院内がん登録初級者認定試験および、院内がん登録実務に必要な知識と技術を習得

2. 授業内容

院内がん登録の目的や制度の概要をテキストで学習
標準登録様式の項目やルールを理解し、様式作成を問題集で演習
ICD-O-3、UICCのコーディングの技術を演習。
認定試験に出やすい問題をテキストに沿って解く。

3. 授業計画

1	がんの病態生理
2	がん登録の背景、目的、制度について
3	院内がん登録の仕組みについて
4	ICD-O-3の基本構成、局在と形態について
5	ICD-O-3コードの引き方演習
6	5大がんを中心にコーディング演習と解説
7	標準登録様式の各項目のルールについて
8	胃がんの病期分類の解説と演習
9	大腸がんの病期分類の解説と演習
10	肝がんの病期分類の解説と演習
11	肺がんの病期分類の解説と演習
12	乳がんの病期分類の解説と演習
13	サマリー問題を使用して登録演習と解説
14	初級者認定試験の問題を参考にテスト施行
15	テスト解説と間違いやすい点を補足

4. 評価方法

定期テスト：80% 授業姿勢：20%

5. テキスト及び参考書

- ・院内がん登録初級者研修教材
- ・ICD-O-3 3.1版
- ・UICC TNM分類 第8版
- ・がんがみえる

6. 実務経験の有無

- あり（経歴：個人病院・公立病院等にて、17年間にわたるがん登録業務経験あり）

7. その他

がん登録の検定直前に数コマの検定対策を実施予定
検定対策の日程は別途通知

科目名	学会発表Ⅱ	担当者	小原 仁	クラス	期別
				3IM	前期 (20)

1. 教育目標

効果的に他者へ伝えるためのプレゼンテーションに必要な知識と技術を養う。

2. 授業内容

学会発表Ⅰにおいて得られた各グループの研究成果をもとに、当該研究成果を他者へ効果的に伝えるために必要な発表進行のシナリオ制作、スライド作成、発表表現、質疑対応といったプレゼンテーションに関する一連の過程を実践する。

なお本授業成果については、日本診療情報管理学会学術大会での口頭発表を想定して行う。

3. 授業計画

1-4	・各グループの研究成果をもとに、当該研究成果の発表に係る進行シナリオを製作する
5-8	・発表進行のシナリオをもとに、発表スライドを作成する
9-10	・発表スライドをもとに、発表用ポスタを作成する。
11-12	・プレゼンテーションの予行演習① ・進行シナリオ・発表スライドの修正および発表表現や質疑対応の準備を行う。
13-14	・プレゼンテーションの予行演習② ・進行シナリオ・発表スライドの修正および発表表現や質疑対応の準備を行う。
15-16	・研究成果報告会への参加と研究成果の口頭発表を行う。(学外講義) 研究成果報告会日程：2025年8月9日土曜日 午後(予定)、場所：嶋田病院会議室
17-20	・学生合同セミナーへの参加と学生セッション(予演会)での口頭発表を行う。 セミナー日程：2025年8月23日土曜日 午後(予定)

4. 評価方法

出席状況、授業態度、成果物(抄録・発表スライド・レポート)に加え、予演会での口頭発表の内容をもとに総合的に評価する。

5. テキスト及び参考書

- ・配布プリント
- ・使用機器等：パソコン(Excel・パワーポイント)・プロジェクターなど

6. 実務経験の有無

あり(経歴：診療情報管理士として病院勤務経験：有)

- ・久留米大学 医学部 医療検査学科 准教授(医学・バイオ統計学博士)
- ・診療情報管理士指導者 / 上級医療情報技師 / 医療経営管理学修士
- ・日本診療情報管理学会 評議員

7. その他

研究実施に必要な知識や技能については、各グループの研究テーマや進捗に応じて、個別に支援を行う。

科目名	就職指導	担当者	肥後 美佐子	クラス	期別
				3IM	通年

1. 教育目標

- ・自分が目指す職業を意識する。
- ・医療機関の全体的な組織・機能・運営を理解し、授業で学んだこととの結び付けを行う。
- ・就職するにあたり、社会人としての意識をつける。

2. 授業内容

- ・学生の特性を把握し、就職先へ適材適所に配置するため個人面談を行う。
- ・就職に向けての準備を行う。

3. 授業計画

1	オリエンテーション・2年次の振り返り	16	課題・就職活動・面接指導
2	個人面談（1人15分程度）	17	課題・就職活動・面接指導
3	個人面談（1人15分程度）	18	課題・就職活動・面接指導
4	派遣と委託の違い	19	課題・就職活動・面接指導
5	仕事内容の把握・求人票の見方	20	課題・就職活動・面接指導
6	就活キックオフ事前指導	21	課題・就職活動・面接指導
7	就活キックオフ事後指導	22	課題・提出物確認・まとめ
8	志望動機の手書き方	23	23～30 2IM後期実施済
9	面接の本質・模擬面接シート作成方法	24	
10	模擬面接シート作成	25	
11	模擬面接シート作成	26	
12	課題・就職活動・面接指導	27	
13	課題・就職活動・面接指導	28	
14	課題・就職活動・面接指導	29	
15	課題・就職活動・面接指導	30	

4. 評価方法

- ・課題提出 70%
- ・平常点（出席状況・授業態度）30%

5. テキスト及び参考書

6. 実務経験の有無

あり

（ 診療情報管理士、ホスピタルコンシェルジュ3級、医事課・診療情報管理勤務・責任者業務 ）

7. その他

科目名	担当者	クラス	期別
キャリア教育Ⅲ	宮本 恵実子	3IM	3年 前期

1. 教育目的

◎社会人として職業に就き、働き続けていく力を養う。(知識・技能・態度・応用)

- 1.不慣れな文書を読解し、要点を正しく抽出することができる。
- 2.さまざまなコミュニケーションの形を知り、実践することができる。
- 3.求人票について知り、理解を深める。
- 4.面接を通して自己表現ができる。
- 5.自身の興味関心について調べ、まとめ、他者に伝えることができる。

2. 授業内容

1	1期・2期のキャリア教育を振り返り、目標とその到達(自己評価)を確認する 期の流れと、到達目標を確認し理解の度合いを測る	3
2	履歴書の完成と面接について	
3	時事問題,持論(リサーチ)	
4	時事問題,持論(リサーチ)	
5	時事問題,持論(リサーチ、まとめ)	
6	時事問題,持論(発表)	
7	社説読解	
8	校外ボランティア	
9	校外ボランティアおよび考察	
10	プレゼンテーションスキル演習	
11	プレゼンテーションスキル演習	
12	求人票の見方・給与の仕組みと税金、社会保険	
13	社説読解	
14	封筒と添え状の準備について	
15	キャリア教育 まとめ『将来像と実践力』背中にエール	

4. 評価方法

- ・提出物,ワークに対する取組とグループへの貢献 70%
- ・出席状況 30%

5. テキストおよび参考資料

オリジナル教材他

6. 実務経験等の有無 : 有り

- ・資格:2級キャリア・コンサルティング技能士(国家資格)
キャリア・コンサルタント(国家資格)、キャリアサポーター(TCE財団)
- ・実務経験:一般企業および教育機関内キャリアコンサルティング等

科目名	病院実習（専門）	担当者	樋口 智美	クラス	期別
				3IM	前期

1. 教育目標

- ・ 病院実習を通して、実践的な知識と技術について具体的に理解し、実践的な技術を体得する。
- ・ 医療専門職として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題など、総合的に対応する能力を取得する。
- ・ 関連分野の専門職との連携のあり方、及びその具体的内容を実践的に理解する。
- ・ 社会人としてのマナーなどを磨き、自己発見をする。

2. 授業内容

病院での実務実習

3. 授業計画

1	人間関係形成力を身に付ける。
	組織人としての円滑な人間関係の形成ができ、多職種連携を含め、医療専門職やその職能について理解する。
	診療上管理士の専門的な知識を理解し、実践力を身に付ける。
	診療上管理士の専門的業務である診療録の貸し出し・返却・点検・疾病分類・統計業務などの診療録管理部門業務を経験し、実践力を身に付ける。
	病院組織（医療専門職の配置や業務内容、多職種との連携など）を理解する。
	多職種連携をはじめとする治療や各支援におけるチームアプローチの実際
2	病院内でのコミュニケーションのあり方を理解する。
	同職種、多職種とのコミュニケーションを経験する
3	自己理解に繋げる
	実習日誌を記すことによって、自分の思考過程を客観的に理解し、行動変容に繋げる。
	実習指導者より、指導や所見を戴くことにより、自らの不足部分を理解し、行動変容に繋げる
4	理想とする診療情報管理士像がイメージできる。
	診療情報管理士の理想像をイメージでき、それに向けた努力や方法を自身の言葉で説明できるようになる。

4. 評価方法

実習指導者による評価（成績表評価）、日誌内容

5. テキスト及び参考書

スライド資料（電子媒体） 資料（紙媒体） 病院実習要綱
診療情報管理 実習生のためのガイドブック（社会保険研究所）

6. 実務経験の有無

あり （ 経歴 ： 医事課・診療情報管理システム部門等の実務経験 ）

7. その他

特記なし